

**一期一会
～人とのつながり
出会いを大切に～**

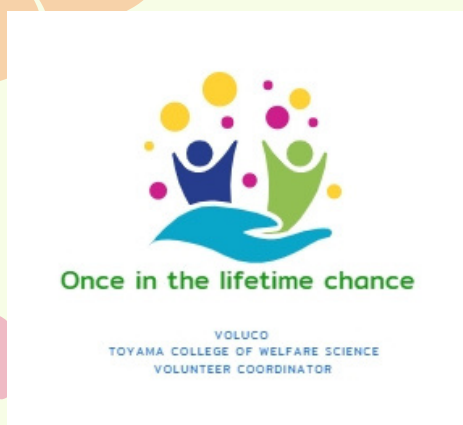
対談テーマ

『若者のボランティア活動について』

**富山福祉短期大学
ボラコ**



**射水市社会福祉協議会
ボランティアセンター**



富山福祉短期大学(ふくたん)の**学生ボランティアコーディネーター(ボラコ)**はコロナ禍の中でも何かできることがないか考えました。

その企画として、ついに2020年12月23日に射水市社会福祉協議会のボランティアセンターのボランティアコーディネーター稲田様を本学のボランティアセンターに招聘しコロナの感染対策を行ったうえで

『**若者のボランティアについて**』をテーマに白熱した対談を行いました。

1. 対談の内容

- ①ボランティアのきっかけ(私達の経験)
- ②ボランティア活動のメリット
- ③今後の企画の提案

2. ボランティアのきっかけ

みんな小中高のボランティア活動でベルマーク回収や赤い羽根共同募金の街頭募金、美化活動等を取り組んだことがボランティア活動のきっかけでした

3. ボランティア活動のメリット

- ・人の温もりを感じられる
- ・やりがいを感じられる
- ・人に感謝される

ボランティアをやってよかった点はみんな共通してますね



4. 今後の企画の提案

小中高でのボランティア活動は施設訪問をはじめ美化活動や収集活動が多いなか、コロナ禍でも感染対策を十分に行ったうえで楽しみながらボランティア活動ができそうな企画をいくつか考えました。

①レクリエーション

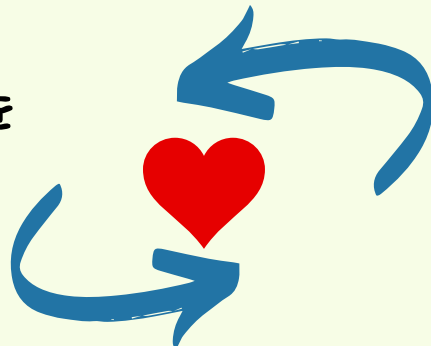
県内には様々なスポーツ団体があるため、その団体とコラボし対面だけではなくリモート等も活用したボランティア活動を行う。

②子どもとの関わり(イベント)

ボラコのメンバーが中高校生にボランティア活動の楽しさを伝える。今度は中高生が小学生たちに伝えるといった「リレー方式」で次世代にボランティアの楽しさを伝え引き継ぎながら世代交流を深めていく。

・ふくたん→高校→中学校→
小学校→保育園・幼稚園

ボランティアの素晴らしさを
リレー方式でつなげ
若者のボランティア意識の
好循環をつくる



対談の様子

若者に対するボランティアのイメージというものは、**自主的に動くこと**で社会の役に立つことが出来る。



喜んでくれる人がいるから
ボランティアの
やりがいに繋がる



ボランティア大好き

作成者: 富山福祉短期大学
ボランティアコーディネーター
対談チーム
発行日: 2021/2/5